

# 神戸大学交響楽団

## '96 SUMMER CONCERT





# 神戸大学交響楽団 '96 Summer Concert

## program

### 劇音楽「真夏の夜の夢」序曲 作品21

"A Midsummer Night's Dream" Overture op.21

メンデルスゾーン

Felix Mendelssohn-Bartholdy

指揮 黒木靖子

コンサートマスター 清水宏樹

### 交響曲 第9番 変ホ長調 作品70

Symphony No.9 E flat-major op.70

ショスタコーヴィチ

Dmitri Dmitrivich Shostakovich

I Allegro

指揮 ヴィヤチェスラフ・プラソロフ

II Moderato-Adagio

コンサートミストレス 黒木靖子

III Presto

IV Largo

V Allegretto-Allegro

### 交響曲 第5番 ホ短調 作品64

Symphony No.5 E-minor op.64

チャイコフスキー

Peter Ilyich Tchaikovsky

I Andante-Allegro con anima

指揮 ヴィヤチェスラフ・プラソロフ

II Andante cantabile, con alcuna licenza

コンサートミストレス 中野 荃子

III Valse: Allegro moderato

IV Finale: Andante maestoso-Allegro vivace

日時 1996年7月5日(金) 19:00～

場所 尼崎市文化センター アルカイックホール

後援 兵庫県・神戸市民文化振興財団・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社

## プロフィール



### 客演指揮 ヴィヤチェスラフ・ブラソロフ (Vyacheslav Prasolov)

今回、初来日したヴィヤチェスラフ・イヴァノヴィチ・ブラソロフ氏は現在、ロシア・マリ＝エル共和国国立歌劇場の首席指揮者として有名である。国立歌劇場の他にも、ロシアのノヴォシビルスク、ヴラディヴォストーク、ベラルーシのミンスク、ウクライナのキエフその他多くの都市で指揮をしている。

1955年ロシア、プロコピエグスク生まれ。ノヴォシビルスク音楽院で学び、在学中国内のコンクールで優勝。さらに1988年、世界的に有名な指揮者G・ロジェストヴェンスキー氏に師事、第6回全ソ連指揮者コンクールに優勝し、ロジェストヴェンスキー氏より「非常の才能のある指揮者」との推薦を与えられる。音楽院卒業後の1981～86年も音楽院に残り、指揮を教え後進の指導にあたる。その間ノヴォシビルスク音楽喜劇劇場の指揮者に就任、1986年にはケメロボとヨシカル＝オラ（マリ＝エル共和国首都）歌劇場の首席指揮者に就任し、現在もその地位にある。

バロックから現代、オペラから交響曲まであらゆる時代、ジャンルに至る幅広いレパートリーを持ち、特にパッハやプロコフィエフの解釈において注目を受けている。オペラ指揮者としてもビゼーのカルメン、ゲノーのファウストをヨシカル＝オラのステージに紹介することに成功している。

ロシアで最も優れた新進気鋭の指揮者の一人であり、国際的にもドイツ、フランス、日本、アメリカでの指揮が予定されている。

#### ロシアでの演奏評より

「ブラソロフが今回の指揮をするとのアナウンスがあった後、会場は割れんばかりの拍手となった。最前列の若者らが拍手を始め、その後ホールを包み込むような拍手となった。それというのも彼の人格・才能・芸術への献身によるものなのだろう。」－『マラヂョー ジョーシ・クリエール』紙、「プロコフィエフ作品演奏会より」

「歌劇場の25周年記念に誰がこのような偉大なる達成を望み得ただろうか。大団円でオーケストラは爆発した。神に誓って……。このようなオペラ的な面白さはこれまでヨシカル＝オラでは見られなかったものだ。」－「ファウスト」評



### 副指揮 蔵野 雅彦

京都市立堀川高等学校音楽科を経て、1979年東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。伊吹新一氏、田中良和氏の両氏に師事。1987年より京都市立堀川高等学校音楽科オーケストラの指揮を担当。1989年に指揮者デビューを飾る。

1992年、京都市の親善使節としてキエフ市を訪れた後、ウクライナ・ナショナル交響楽団、マリ＝エル国立歌劇場管弦楽団、シェフチェンコ歌劇場管弦楽団に客演。国内においても京都市交響楽団、大阪市音楽団、八幡市民オーケストラ他、数多くのオーケストラを指揮。現在、青山音楽賞評議員。

いや、蔵野先生って本当にいい人なんです、はい。いかにお疲れでも合宿に足を運んでくださり、私達が夜中騒ぎまわるのを見越して、耳栓まで持参されておりました。これで次回からは手加減無用で騒げるってもんだ!!

……ご、ごほん。いつもはとても穏やかですが、指揮中はとても激しいのです。

その熱い指揮ぶりに思わず調子にのせられてしまい練習後はグツトリ、ということが何度あったことやら。そして大胆なテンポの揺らしに、一部のテンポ揺らし好きは練習の度に感動にうち震えているとかいらないとか。何やら毎度、白黒の服を着ていらっしゃるの（棒が見やすいように?）いつぞやなど、管楽器群全員白黒攻撃、とかやるとそれはもう喜んで下さって…それも昔のことのよう……。随分、昔のこと思いきや、前回の定演の時だった。そうです、蔵野先生には二期連続でお世話になっているのです。団員一同、感謝をこめて今夜はよい音楽をお届けします。